

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、現代社会に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇保健管理・安全管理	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	地震や台風などの対応について、保護者は92%、生徒は85%が、周知されていると回答している。昨年度より、約20ポイント周知の割合が上昇した。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇非常変災時を始めとして、あらゆる場面において安全な行動がとれる知識を身につける。 ◇校内外の環境美化に積極的に取り組む生徒を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会 ・安全衛生委員会 ・防災管理委員会 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 保護者懇談会などで健康管理、安全管理について学校の方針を伝え、協力を依頼する。 (2) 命を守る訓練などの機会を捉えて、防災教育を実施する。 (3) 教職員に対して、非常変災時の対応を周知する。 (4) 保護者と非常変災時の対応について共通理解を図る。 (5) 生徒の委員会活動を活性化し、健康管理および環境美化への意識を啓発する。 (6) 保健だより、ホームページなどの広報活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 受診結果報告書の提出率 (2) 訓練において、避難する際の姿勢、心構え (3) 警報発令時での対応 (4) 緊急連絡用引渡しカードの確認状況と緊急連絡メールの登録状況 (5) 保健室の利用状況、ゴミの分別、トイレの使用状況 (6) 保健だよりの内容および発行回数、ホームページの内容、更新回数 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・夏の保護者懇談会で、健康診断の結果を保護者に伝えるとともに、病院の受診が必要な生徒には治療勧告書を渡し、受診を依頼した。さらに、受診結果報告書の提出されない生徒には、冬の懇談時に再度督促した。 ・「学校災害対応マニュアル」を再度見直し、より現実的なものになるよう改訂し、教職員に配布した。さらに、内容の一部は職員会議で説明し、周知した。 ・命を守る訓練を実施し、その際に消防署員から講話を受けた。 ・年度当初に「緊急連絡用引渡しカード」を回収し、保護者懇談時に再度その内容について確認した。また、緊急連絡メールによる伝達訓練を実施した。 ・美化、保健の各委員会でポスターを作成し、健康管理、環境美化に対する意識を啓発した。また、定期的に廊下、階段、トイレを委員会の生徒で清掃し、全校生徒にきれいに使用する自覚を持たせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康診断の結果から、要受診者の受診率を高めることができたか。 ②緊急時、非常変災時に、生徒、職員がマニュアルに即した対応がとれたか。また、保護者との連携がとれたか。 ③校内美化に意欲的に取り組めたか。ごみの分別を確実にし、ごみの量を減らすことができたか。トイレの使用マナーは適切か。 	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>

<p>・保健だよりを定期的に発行し、タイムリーな情報を提供した。また、保健安全行事実施後には、その内容・結果をホームページに掲載した。</p>		
<p>11 成 果 ・ 課 題</p>	<p>○保健だよりの発行並びにホームページへの掲載、および緊急時の家庭への連絡方法を確認することによって、学校と家庭が連携して健康管理、安全管理を推進することができた。</p> <p>○保健だよりに加えて生徒の保健、美化委員会がポスターを作成し、全校生徒に呼びかけた結果、予防としてマスクを着用する、手指消毒剤を積極的に活用する生徒の姿が、少人数ではあるが見られた。健康に対する意識向上の手立てとなった。また、トイレの使用マナーも、ポスターおよび「使用の心得」を掲示することによって、改善されてきた。</p> <p>▲病院受診が必要な生徒には、治療勧告書を渡すが、なおざりにしておく生徒が多いので、受診率を高めたい。</p> <p>▲廊下をきれいに清掃するが、スリッパ痕で汚れるので、生徒指導部と協力して対策を考えていきたい。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の健康診断内容を再検討し、また、健康調査票の様式、提出日を変更し、担任を始めとして教職員が生徒の健康状態を把握できる態勢をとっていきたい。 印刷物、ポスター、掲示物等で身近な情報、資料を提供し、自ら健康および生活習慣について考え、見直し、改善していく自己管理能力を育てていく。 ESD「環境教育」の一環として、校内美化の推進だけではなく、地域の自然環境を保護するために、自然を大切に、地域の環境美化にも目を向ける心を醸成していきたい。 今年度に引き続き、健康管理だけではなく、災害に対する危機管理能力を高めるために、学校災害対応マニュアルを保護者にも理解してもらい、家庭との連携を図りながら、健康・安全指導に努めていく。 生徒・職員の災害に対する対応力を向上させるために、さまざまなパターンを考えた命を守る訓練を実施する。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成27年2月12日

【意見・要望・評価等】

- 生活リズムの乱れから体調を崩す生徒が少しでも改善していけるよう家庭との連携が重要だと考える。
- 病院の受診が必要な生徒には治療勧告書を渡して指導をさせていただいているが、再度受診が行われていない生徒に対しては、督促をお願いしたい。
- 保健だよりやポスターにより、全校生徒に呼びかけた結果、予防としてマスクを着用することができたことはよいことである。
- 災害はいつ来るかわからないので、命を守る訓練を行うことで、生徒や職員の災害に対する対応力を向上してほしい。